

2021年6月21日

各位

会社名 Delta-Fly Pharma株式会社  
代表者名 代表取締役社長 江島 清  
(コード:4598 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役管理部門担当 黒滝 健一  
(TEL:03-6231-1278)

### がん患者と環境に優しい事業の取り組みに関するお知らせ

当社が新規抗がん剤候補物質として開発中の DFP-17729 の主成分のクエン酸塩類は、柑橘類の抽出やイモ類のでんぷんを発酵させて製造されています。柑橘類やイモ類は、水と二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)と太陽光から植物の光合成で生産される天然資源の産物です。

DFP-17729 と同様の抗がん作用を示す炭酸水素ナトリウムは、海水から得られる食塩水の電気化学的分解で生成する化成ソーダの水溶液に CO<sub>2</sub>ガスを吹き込んで生成した沈殿物の再結晶によって食用や医薬用に生産できます。同様の抗がん作用を示す酸化マグネシウムは海水や天然のマグネシウム鉱石などの天然資源から生産されています。マグネシウム金属は CO<sub>2</sub>ガス中で燃焼し、酸化マグネシウムを生成します。これらのアルカリ物質は、水溶液中で、弱アルカリ性(pHは8.5)を示すため、海水中への放出規制(pH:8.6以下)を満たしており、環境汚染なしに自然へ戻せます。

火力発電で大量に発生するCO<sub>2</sub>ガスが地球温暖化等の環境問題になっていますが、インド・トゥティコリン(Tuticorin)にある石炭火力発電所では、大量発生するCO<sub>2</sub>ガスを炭酸水素ナトリウムへ工業的に変換する設備を導入しました。炭酸水素ナトリウム等のアルカリ剤の人類への有効利用が益々求められている所以です。

また、火山大国の日本においては、数多くのアルカリ温泉(主成分は、炭酸水素ナトリウム)が在り、人々の健康に貢献しております。

当社は、独自のモジュール創薬の基盤に基づいて、がん患者に優しい新規抗がん剤の開発に取り組んでいます。今後、抗がん剤候補物質の DFP-17729 等のアルカリ剤の事業活動を通して、CO<sub>2</sub>の有効利用の観点から、環境にも優しい環境作りにも貢献して参ります。

以上